

高校までの英語学習とは まったく違う「SPEC」で 英語が話せる技術者に

技術者にも英語のコミュニケーション力が必要です。必要になって今、福井工業大学ではSPECという独自の英語教育を行っています。ネイティブ・スピーカーによる英会話授業を4年間行うなど、ユニークなカリキュラムは、今年で導入4年目を迎えます。SPECで学んだ学生たちは、英語とどうつきあっているのでしょうか。

FUT 福井工大の実力。[第2回]

会話重視の 英語カリキュラム

英語でのコミュニケーション力を育てるカリキュラム、それがSPEC(Special Program for English Communication)です。目標は、英語が使える技術者の育成。カリキュラムの内容は会話中心です。英会話の授業は1年から4年まであり、すべてネイティブ・スピーカーである外国人の先生が担当しているのが特徴です。日本人の先生によるTOEIC®(英語力を評価する世界共通テスト)対策の授業も充実しています。

「フェ」と、授業外の時間にパソコンで英語学習ができる「CAL教室」が同じフロアにあり、やればやるほどうまくなります。興味を持ち自主的に勉強しようと思ったら、かなりのレベルまでサポートしてもらえます。

モチベーションが アップする環境や きっかけづくり

「きっかけを与えてあげることが大事ななんです」というのは、SPEC推進室メンバーの小山政史講師。「外国人教員がいるからいつでも行っているよと言っても、だいたい学生はいきません。そこでスタンダードを導入し、それを授業に

フィードバックしています。そういうきっかけを与えることでほとんどの学生が参加します。参加すると、ネイティブとの会話はとっても楽しい。高校までは英語が苦手だった学生も多いので、まずは英語でしゃべる喜び、通じる喜びを感じてもらいたい。楽しみながら英会話を学ば、それが原動力につながるんです。話したくても英語が出て来なかったという学生も多いんですが、それでいいんです。それが勉強する力になるんですから。そういう意味では、外国人の先生が身近にいることがとても大事。1年生の時は英会話の授業でガチガチだった学生も、いつの間にか、外国人の先生と通りすがりに挨拶するようになっていきました。これは大きな一歩だと思いました。SPECを始め今年で4年目。様々な面で浸透を感じています。

「TOEIC®は英語力が数字でわかるので、勉強の動機付けにもいいですよ。今ではTOEIC®受験が当たり前という雰囲気になってきています」

海外語学研修ではもっと劇的に変化が起きていると思います。長期休暇を利用して、夏ならイギリスで2週間、春ならオーストラリアで4週間、ホームステイしながら語学学校に通うプログラムです。

「英語力そのもののアップだけでなく、もっと話したいことがあったのに伝えられなかったのが勉強したい、と研修後のモチベーションが非常に上がるんです。他の国の学生との交流も生まれますし、海外で暮らしたという経験は大きいですね」

TOEIC® スコア270点アップ

産業ビジネス学科4年生の林有理沙さんは、現在就職活動の真っ最中。「航空系か旅行系のバリバリ英語を使う仕事をしたいです」という彼女、実は3年生になるまでは英語が苦手でした。英語を勉強し始めたきっかけはお母さん。

「母がフェイスブックでフィリピンの友人とメッセージのやりとりをしていて、その中で私のことを書いてくれてたんです。でもすべて英語だったので私は読めなくて、友だちに訳してもらったら、その内容に感動しました。それで自分でも読めるようになりたいと強く思ったからです」

それが3年生の時でした。林さんの意欲に先生たちが応えました。外国人の先生をお願いして、1対1で会話の練習をさせてもらいました。TOEIC®の点数向上も目標にし、

まずは、英語の先生に教科書を貸してもらって、中学英語の文法を勉強し直すことから始めました。課外授業TOEIC®対策講座にも出て勉強。最初に受けた時は300点しかなかったスコアは、500点台後半にまで伸びました。

「就活が一段落したら、600点台700点台を目指します」と目が輝きます。英語の勉強に励むようになってから、「結構変わったって言われます」と林さん。

「人との交流が好きになりました。今は、いろんな国の人としゃべりたい。だんだん話を通じるようになってきた時が楽しいんです」

英語は友だち

「英語は友だちみたいなものだと思いますってほしい」

学生たちへのメッセージとして、小山講師はこう切り出しました。

「ある程度長い時間を一緒に過ごすと、いいところや面白いところが見えてくる。それは友だちと一緒にだと思えます。だから大学時代の4年間、つきあってやってほしい。いい友だちになれるためのプログラムは用意してあります」

その友だちは、きっと一生つきあってくれます。



月曜から金曜の5限目。インターナショナルセンターの一番大きい教室で開かれる「英会話カフェ」。それぞれのテーブルに外国人教員が着き学生たちと会話。誰でも参加できます。



基盤教育機構 SPEC推進室メンバー 小山政史講師。TOEIC®対策の授業を担当



英会話カフェのスタンプカード。授業で学んだ英語で話せた証。学生に自信を持たせます



海外語学研修。4週間の研修中には、地元の保育園児との交流もあります



産業ビジネス学科 地域共生ビジネスコース4年 林有理沙さん。富山県出身

OPEN CAMPUS

8/6(土) 9/11(日) 10/8(土)・9(日)



自分の道を、
自分らしく
歩むために。

今、必要な情報がここにある。

すべてを学生・生徒のために
福井工業大学
Fukui University of Technology